

2 環境学習

県民一人ひとりが環境に関する諸問題を正しく理解し、環境に負荷をかけないライフスタイルを実現・実行することこそが環境保全にとって最も重要である。当センターでは、環境保全の実践に結びつけるため、各種講座の開催など環境学習の機会の提供を行っている。令和7年度の環境学習の取組については、以下のとおりである。

2.1 彩の国環境大学

当センターでは、平成9年度から環境科学に関する知識を持った専門的な人材を育成するため、彩の国環境大学を開講している。令和7年度も、環境に関する広範囲かつ専門的な知識の習得を目的として基礎課程、実践課程を開講した。

開講期間：8月17日～11月22日 基礎課程・実践課程 各10回 受講者：50名 修了者：35名

開講式公開講座

開催日	講義名	講師名
8月17日	「彩の国でCN、CE、NPを目指す」	埼玉県環境科学国際センター 総長 植松光夫

閉講式公開講座

開催日	講義名	講師名
11月22日	「湖の水質をコントロールするものPart II－仕組みと研究のおはなし」	埼玉県環境科学国際センター 研究所長 今井章雄



開講式公開講座



閉講式公開講座

基礎課程

開催日	講義名	講師名
8月30日	埼玉県の環境の現状と今後の目指す姿	埼玉県環境部環境政策課 技師 豊田りさ子
8月30日	私たちの暮らしと廃棄物 ～ごみ処理の変遷と法整備～	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 長森正尚
9月 6日	埼玉の大気環境を知る	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 佐坂公規
9月 6日	大規模断水と住民対応 ～令和6年能登半島地震被災地における水利用の実態と課題～	埼玉県環境科学国際センター 主任研究員 柿本貴志

開催日	講義名	講師名
9月13日	埼玉県における気候変動の実態と2つの対策	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 嶋田知英
9月13日	化学物質と私たちの暮らし	埼玉県環境科学国際センター 主任研究員 堀井勇一
9月20日	埼玉県の自然環境を支える土壌環境とその保全	埼玉県環境科学国際センター 担当部長 王効挙
9月20日	埼玉の水環境 ～河川の水質と私たちの生活～	埼玉県環境科学国際センター 主任研究員 池田和弘
9月27日	環境経済学 ～気候変動問題から考える日本のエネルギーと経済～	大月市立大月短期大学 教授 佐藤克春
9月27日	地球環境問題と国際協力	日本大学 教授 鈴木和信

実践課程

開催日	講義名	講師名
10月 4日	環境学習から環境まちづくりへ	NPO法人 エコ・コミュニケーションセンター 代表 森良
	学びと参加をつなげひろげるコーディネーターの役割	
10月11日	環境学習プログラムをデザインする	学びの広場 代表 小川達己
	環境学習プログラムをデザインする（演習）	
10月18日	生物多様性の保全について	埼玉県自然学習センター 自然学習指導員チーフ 高野徹
	自然のしくみを知る（実地演習）	
10月25日	事例研究 危機感が生んだ都市住民を取り込む活動手法について	NPO法人 宮代水と緑のネットワーク 代表理事 茂木俊二
10月25日	2030SDGsカードゲーム体験	合同会社シナプス 代表 竹元紳一郎
11月 1日	SDGsを環境から考える	認定NPO法人 環境ネットワーク埼玉 代表理事 星野弘志
	環境リテラシーを考える	

2.2 公開講座

彩の国環境大学修了者フォローアップ講座をはじめ、センター施設を活用した生態園体験教室、県民実験教室を開催した。

講座名	開催日	テーマ等	参加者
①彩の国環境大学修了者フォローアップ講座 環境保全活動や環境学習活動を行う彩の国環境大学修了者を支援するため開催している。	令和8年 1月24日	- 講演 「地球沸騰化時代の埼玉県の現状と地球温暖化対策」 埼玉県環境科学国際センター 主任 大和広明 - 発表 「『食』のサーキュラーエコノミー “食品ロス削減の取り組み、未来を託す子どもたちへ”」 彩の国環境大学修了生の会 鈴木純二	23名

講座名	開催日	テーマ等	参加者
②生態園体験教室 生態園における観察会や野外活動を通して身近な環境のしくみの理解や自然と生活との共生のあり方における自然環境保護意識の向上を図るため開催している。	令和7年		
	5月 4日	ゴールデンウィーク特別企画「新緑の生態園で春を探そう！誰でも自然探検」	38名
	5月 5日	ゴールデンウィーク特別企画「五感で楽しむ春の宝探し（ネイチャーゲーム）」	26名
	8月 3日	夏休み特別企画「森からの贈り物：間伐材アートフレーム講座」	45名
	8月11日	夏休み特別企画「チョウとカブトムシの昆虫標本を作ってみよう」	62名
	11月14日	県民の日特別企画「自然観察会 見てみよう 感じてみよう 秋の生態園」	32名
	11月14日	県民の日特別企画「ネイチャークラフト～どんぐり工作～」	204名
	令和8年		
	2月15日	「木のふしぎを探る葉っぱのアート ～葉脈観察と拓本づくり～」	41名
	2月22日	「はじめてのバードウォッチング教室 ～冬の野鳥を見つけよう～」	42名
③県民実験教室 簡易な科学実験やリサイクル工作を通して環境保全意識の向上を図るため開催している。	令和7年		
	4月26日	ゴールデンウィーク特別企画「リサイクル工作ーリモコンロボットをつくろう」	66名
	4月27日	ゴールデンウィーク特別企画「もくもくードライアイスのひみつ」	92名
	4月29日	ゴールデンウィーク特別企画「空気の魔法！プラバンUFOと紙コップUFOを作ろう」	73名
	5月 3日	ゴールデンウィーク特別企画「苔（コケ）のインテリア「コケリウム」をつくろう」	25名
	5月 6日	ゴールデンウィーク特別企画「やれるんだから最後までやっちゃおう！ガマの穂の種子数え」	76名
	7月19日	夏休み特別企画「光って奏でる風力発電機をつくろう」	117名
	7月20日	夏休み特別企画「自由研究なんでも相談室ー研究員がキミの自由研究を全力でサポートしますー」	29名
	7月21日	夏休み特別企画「サイエンスショー -196℃の世界」	78名
	7月25日	夏休み特別企画「化学実験！不思議なぷよ玉」	51名
	7月26日	夏休み特別企画「リアル体験教室『水を分析する環境博士になりたい』」	60名
	7月27日	夏休み特別企画「筒の中に広がる不思議な世界～ガラス玉と分光シートを使った万華鏡を作ろう～」	62名
	7月29日	夏休み特別企画「体験！大気汚染を目で見てみよう」	44名
	8月 1日	夏休み特別企画「体験！雲の上の実験室～富士山頂では何が起きる？」	105名
	8月 2日	夏休み特別企画「サイタマの猛暑を分析！『暑さ指数計』で学ぶ夏の熱中症対策」	33名
	8月 6日	夏休み特別企画「川の水質ミステリー！生き物カードで解き明かせ！」	31名

講座名	開催日	テーマ等	参加者
③県民実験教室（つづき）	8月 9日	夏休み特別企画「手作り浄化装置で探る！土壌のはたらき」	38名
	8月10日	夏休み特別企画「ごみの山から出るガスの正体を探れ！」	71名
	8月15日	夏休み特別企画「魔法のスノードーム作り：溶けない結晶で温暖化の秘密を知ろう」	61名
	8月16日	夏休み特別企画「タネと発芽のひみつ『ハトのえさ』からタネの標本を作ろう」	60名
	11月14日	県民の日特別企画「どっか〜ん！ーものが燃え爆発するしくみをさぐる」	102名
	2月28日	「再生可能エネルギーを学びソーラーLEDちょうちんをつくろう！」	67名

（30講座、計1,854名）

2.3 研究施設公開

ゴールデンウィーク、県民の日に研究施設の一般公開を行った。

開催日	内 容	参加者
5月 6日	普段非公開の研究施設を特別に公開し、研究員が解説や実演を行った。	244名
11月14日		309名

2.4 イベント参加

他機関や団体等のイベントに参加し、ポスター展示やチラシなどにより環境学習活動のPRを行った。

開催日	イベント名	場 所	参加者
令和7年			
5月 3日	よしみ環境フェア	フレサ吉見（吉見町）	450名
5月18日	こうのとりマルシェ	コウノトリ野生復帰センター 「天空の里」（鴻巣市）	450名
10月4- 5日	Act Green ECO Week 2025	イオンレイクタウン（越谷市）	9,900名
10月 5日	渡良瀬遊水地まつり in KAZO	渡良瀬遊水地（加須市）	620名
10月26日	こうのとりマルシェ	コウノトリ野生復帰センター 「天空の里」（鴻巣市）	150名
11月 3日	よしみ環境まつり	吉見町ふれあい広場・吉見町図書館交流館（吉見町）	800名
11月14日	県民の日「県庁オープンデー」	埼玉県庁（さいたま市）	1,359名
令和8年			
3月20日	鴻巣市SDG s フェスティバル	鴻巣市文化センター（クレアこうのす）（鴻巣市）	600名

2.5 特別企画（再掲を含む）

ゴールデンウィーク、夏休み、シルバーウィーク、県民の日に各種イベントを実施した。

イ ベ ント 名	開 催 日	内 容	備 考
ゴールデンウィーク特別企画	4月26日 ～ 5月 6日	・研究所公開 ・リサイクル工作ーリモコンロボットをつくろう ・もくもくードライアイスのひみつ ・空気の魔法！プラバンUFOと紙コップUFOを作ろう ・苔（コケ）のインテリア「コケリウム」をつくろう ・新緑の生態園で春を探そう！誰でも自然探検 ・五感で楽しむ春の宝探し（ネイチャーゲーム） ・やれるんだから最後までやっちゃおう！ガマの穂の種子数え ・体験！エコクラフトと発電チャレンジ ・ミニ上映会 ほか	参加者延 1,683名
夏休み特別企画	7月19日 ～ 8月17日	・光って奏でる風力発電機をつくろう ・自由研究なんでも相談室ー研究員がキミの自由研究を全力でサポートしますー ・サイエンスショー -196℃の世界 ・化学実験！不思議なぶよ玉 ・リアル体験教室『水を分析する環境博士になりたい』 ・筒の中に広がる不思議な世界～ガラス玉と分光シートを使った万華鏡を作ろう～ ・体験！大気汚染を目で見てみよう ・体験！雲の上の実験室～富士山頂では何が起きる？ ・サイタマの猛暑を分析！『暑さ指数計』で学ぶ夏の熱中症対策 ・森からの贈り物：間伐材アートフレーム講座 ・川の水質ミステリー！生き物カードで解き明かせ！ ・手作り浄化装置で探る！土壌のはたらき ・ごみの山から出るガスの正体を探れ！ ・チョウとカブトムシの昆虫標本を作ってみよう ・魔法のスノードーム作り：溶けない結晶で温暖化の秘密を知ろう ・タネと発芽のひみつー『ハトのえさ』からタネの標本を作ろう ・ミニ上映会 ほか	参加者延 2,600名
シルバーウィーク特別企画	9月13日 ～ 9月28日	・彩かんかん いきものスタンプラリー ・コウノトリが運ぶ豊かな暮らし みんなでつくるコウノトリ展 ・環境ゲームで遊ぼう！ ・ミニ上映会	参加者延 1,018名
県民の日特別企画	11月14日	・研究所公開 ・サイエンスショー「どっか～ん！ーものが燃え爆発するしくみをさぐる」 ・自然観察会「見てみよう感じてみよう 秋の生態園」 ・ネイチャークラフト～どんぐり工作～ ほか	参加者延 1,440名

（計6,741名）

2.6 インターンシップ・職場体験の受入れ

大学生のインターンシップ、地元中学生の職場体験を受け入れた。

インターンシップ

(4件、8名)

受入日	人 数	受 入 担 当 名	内 容
8月27日～ 8月29日	2名	土壌・地下水・地盤担当	行政データのデジタルデータ化
9月 1日～ 9月 5日	3名	資源循環・廃棄物担当 化学物質・環境放射能担当	最終処分場での野外調査、リサイクル施設の視察、環境中化学物質の調査
9月 3日～ 9月 5日	1名	水環境担当 土壌・地下水・地盤担当	河川採水・分析、地下水質データの整理
9月12日～ 9月18日	2名	総務・学習・情報担当	展示館案内業務、特別企画イベント準備

職場体験

(3件、9名)

受入日	人 数	受 入 担 当 名	内 容
6月11日～ 6月13日	4名	総務・学習・情報担当	展示館案内業務、生態園管理作業
11月12日	4名	総務・学習・情報担当	展示館案内業務
12月 9日～12月10日	1名	総務・学習・情報担当	展示館案内業務、生態園管理作業